



Subaru

男声合唱団 ニュース№493 '15. 2. 2

1月30日

吉田亜矢子先生の特別レッスン開かれる

□ 1月30日（金）は吉田亜矢子先生を迎えての特別レッスンが開催され、先生の自然体発声法のレッスンで楽器としての体を入念に整えることに始まり、「ねがい」を主に、「春を待つ」の2曲を、最初は本並先生の指揮、すぐに亜矢子先生に引き継いでレッスンを受けました。ピアノは静さんで、参加は全27名でした。

□ 吉田亜矢子先生のレッスンは昨年から引き続きこれで5回目になります。自然体発声法では、団員一同もだんだん慣れて、リラックスして喉が開き、あくびやつぼが自然に良く出るようになり、自分の体が楽器として調律されるのが解るようになってきました。



□ 今回もいろいろ教えて頂きましたが、特に

①息の吸い込み方；腰から息を吐き出しきり、間をおいて、力を抜けば自然に息が入ってくる、これが息を吸い込む正しいやりかた。皆のは、胸で一瞬に吸い込もうとしてシュッと音を立てて吸い込んでいる、これは間違い、と指導がありました。

②母音はすべて腰の後ろから息を声帯の後ろへ流して発声する、決して胸や喉で歌わない、と教わりました。

□ 「ねがい」では、大きな身振りで、ポイントを大きな声をかけて励まし、うまくいくと、「そうそう！」とほめながら、熱の入った演奏が引き出されて行きました。吉田先生も「昇の反応が良いのでついつい熱が入ってしまった」そうです（おせじ?）。おかげさまで、昇の演奏も一段と進歩したようです、ありがとうございました。

パナソニック労働者 12人を励ますつどいに参加

1月19日

□ 1月19日(月)は国労会館にて「パナソニック労働者12人を励ますつどい」が開かれ、昴は「パナソニック革新懇」の代表世話人、電気・情報ユニオン特別執行委員をしている岡邑さんの呼びかけに応じて、この「励ますつどい」に参加し、つどいの最後に、うたごえの仲間66人とともに「人間のうた」とスクラムを組んで「がんばろう!」を歌い、12人を励ましました。

□ パナソニックは、会社の一部を分割譲渡し、社員を転籍させるという新しいリストラを行ってきました。これに応じなかった労働者に対し、パナソニックは家庭の事情など一切聞くことなく、北海道など遠隔地に転勤を迫ってきました。これに対し12人が「電機ユニオン」に加盟、通勤可能な職場を求めて立ち上がったのです。(紫金草ニュースから転載)



□ 「励ますつどい」には、全体で172人が参加、「大阪のうたごえ」からは66人、うち、「昴」からはパナソニック労働者でかつて職場差別と闘って勝利した、闘病中の橋本さん、同じくパナソニック労働者から市議員となり、橋本さんの差別闘争勝利に貢献した石橋さんを加えて全27名の参加でした。

□ 12人からは、「こんなにたくさんの方が来てくれて元気になりました。12人団結してがんばります」と力強い決意表明がありました。(同じく紫金草ニュースから転載)

立川孝信さんの市議員立候補を応援

有志・1月24日

□ 1月24日(土)に社会福祉指導センターにて、「いっせい地方選挙勝利をめざす 新春のつどい」が開かれ、「都構想ノー 維新退場 浪速の文化を守り、ふれあいの市政を」目指して大阪市議員(中央区)に立候補した、立川・昴事務局長(おおさかのうたごえ協議会議長)を応援するため、昴有志が参加し、つどいの冒頭に「飲びのナーダム」と「I've Got Sixpence!」を元気よく歌い、立川さんの決起を励ましました。

□ 立川さんのお礼メールを紹介します。

集いは180名の会場に190名入り大盛況でした。必勝太鼓、昴・グリーンコーラスの演奏「こころひとつに」の大合唱、空堀音頭の総踊り、清水ただしさんの共産党躍進のお話などとても楽しく盛り上がりました。地域の皆さんはもちろん、うたごえ・市労組・友人たちとたくさん駆けつけていただき大成功の決起集会となり、私も立候補の決意を新たにしました。本当にありがとうございました。何としても橋下・維新の暴走ストップのために頑張ります。 立川

